

地域密着型サービス 運営推進会議 記録

事業所名	特別養護老人ホーム 東風荘松里館
所在地	千葉県旭市三川字篠堆 6143-12
サービス種類	地域密着型介護老人福祉施設
開催日時	令和 8 年9月17日(木) 9:55～11:10
開催場所	特別養護老人ホーム東風荘
出席者 計11名	旭市役所高齢者福祉課職員 1名 旭市東部包括職員 1名 旭市東部包括実習生 3名 地域密着サービス知見者 1名 地域住民の代表者 1名 ご家族代表 1名 事業所職員 3 名
議題	1. 令和8年度7～8月の報告 2. 腰痛予防体操体験
報告事項	・7月～8月の報告 ・4月～8月の職員研修
評価 感想 等	・職員の心身の健康が大切だと思う。相談しやすい体制が必要と感じ 職員が楽しく業務ができるよう環境作りに今後も努力してほしい。 ・色々なシステムを取り入れていて覚えるのが大変だと思うが、いつもよくみてくださっていると感じる。
要望 意見 助言 質問 等	○事故について連絡経路や受診はどのような場合なのか教えてほしい。 ➡連絡については事故の状況と日中、深夜によってマニュアルが異なる。受診の判断は、いつもの体の動き、傷の大きさ、腫れ、バイタルによって看護師と嘱託医が判断する。 ○深夜の急変について救急搬送や判断に迷う時はどうしているのか ➡基本は夜間の担当看護職員に連絡し、指示をもらい対応する。 直接、対象者を見ていない看護職員が迷う場合は救急搬送も含めた受診をする。また、緊急と判断した場合は救急搬送後、看護職員へ報告となる場合もある。 ○夜間帯の緊急時の職員体制はどのようになっているのか ➡緊急時の参集要員は決めてあるが参集していない。実際には東風荘

	に夜勤職員を1名多く配置しているため、緊急時は東風荘に応援要請を行っている。 ○職員の心の面についてのケアはどのようにしているか ➡心の相談窓口を設置していて、前年度までは相談がなかったが、今年度は窓口担当職員の希望をもらい、全職員がいずれかの担当者と面談をするようにした。 相談の内容は窓口担当で止めるが、相談内容に応じて本人の承諾を得て、上司へ報告。必要があれば会議内で検討する。 また、各部署でいつもと様子が異なる職員がいる場合は、施設長へ面談を依頼する事もある 年に1回のストレスチェックを実施、高ストレス判定の職員は産業医との面談希望の有無など対応をしている ○腰痛はどういった方がなる等あるか ➡経験の長い職員がなる傾向があると感じる 現在は介助者にあった介助方法など研修機会も多い。経験の長い職員は自分のやりやすい方法での介助してしまい腰痛が職業病となっている。 最近では、理学療法士が利用者の介助方法を職員へアドバイスするようになったので、腰痛者が軽減することを期待している。 ○行事について、毎月行事は行っているのか ➡普段は、個別にレクリエーションとなるが、月に一度は外出や施設内で季節の行事を行っている
その他	次回会議開催予定 令和8年11月 日時決まり次第案内